

授業科目	日本語学概論				単位	2		
履修	選択	関連資格	日本語教員		ナンバリング			
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP3-1			
担当教員	清水 順子							
授業概要	この授業では、日本語学を日本語教育や教養の面から学ぶ。日常の身の回りの言語表現を取り上げ、そのしぐみを歴史的・社会的・地域的背景とともに考察する。日本語学の基礎的知識をふまえ、豊かで鋭い言語感覚に触れ、自己のことばを科学的に観察することが出来るようになることを目指す。							
学生が達成すべき行動目標	1.日本語学の基礎的知識を体得することができる。 2.豊かで鋭い言語感覚を習得することができる。 3.自己のことばを科学的に観察することができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	0	0	0	0	50	100	
知識・理解 (DP1-1)	50						50	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)						50	50	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
日本語学について学んだことを、自分のことばで他の人に分かりやすく説明できる。				1.日本語学の基礎的知識を体得することができる。 2.豊かで鋭い言語感覚を習得することができる。 3.自己のことばを科学的に観察することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション 授業の概要を説明し、履修方法や授業の目的、達成目安、評価の内容と方法を理解する。			講義		予習: 該当部分の予習		60

2	音声学と音韻論 発音記号 ポストタスクを通して理解を深める	講義	予習: 該当部分の予習	60
3	語構成 複合語 動詞のタイプ 意味役割	講義	予習: 該当部分の予習	60
4	語彙 語の変化 漢語 ポストタスクを通して理解を深める	講義	予習: 該当部分の予習	60
5	テンス テンスとアスペクト	講義	予習: 該当部分の予習	60
6	表記 ひらがな・カタカナ表記 話し方と表記の関係 ポストタスクを通して理解を深める	講義	予習: 該当部分の予習	60
7	授受表現 上代のやりもらい 現在のやりもらい ポストタスクを通して理解を深める	講義	予習: 該当部分の予習	60
8	動詞と助動詞 活用体系 形容詞	講義	予習: 該当部分の予習	60
9	方言1 地域差 ヴァリエーション 日本語の多様性	講義	予習: 該当部分の予習	60
10	方言2 命令表現 敬語運用の地域差	講義	予習: 該当部分の予習	60
11	オノマトペと副詞	講義	予習: 該当部分の予習	60
12	フィラー フィラーと発話効果	講義	予習: 該当部分の予習	60
13	敬語 敬語の5分類 普通体と丁寧体	講義	予習: 該当部分の予習	60
14	接続詞 役割語	講義	予習: 該当部分の予習	60
15	総括 授業のまとめと重要事項解説	講義	復習 授業内容の復習	60
16				
17				
18				
19				
20				

21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	積極的な取り組みの姿勢が必要です。			
テキスト	岡崎知子他(2017)『ココが面白い！日本語学』ココ出版			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業の際に紹介する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 出席と積極的な参加を重視します。 2. 欠席 1 回につき、「出席を含む授業態度」が 3 パーセントずつ減点されます。欠席 5 回で自動的に不可となり、遅刻・早退は 2 回で欠席 1 回とみなされますので、正当な理由があり欠席・遅刻・早退する／した場合は、必ず届け出ておくこと。 3. 皆さんが日常的に使っている日本語を、色々な角度から分析・解説していきます。授業以外の時間でも、「これはどうなんだろう？」という疑問を持ち続け、分からないところは、自分で調べてみましょう。 			
達成度評価に関するコメント	「達成度評価」の「その他」は、授業への積極的参加とします。			

